

第 21 期 pES club EBM 実践大会

2022 年 12 月 11 日

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

目標：エビデンスに基づいて、適切な健康診断・検診の推奨を作成することができる。

課題：あなたは卒業後 15 年目の EBMer です。ある日、政府のとある機関から 1 通のメールが届きました。そこには、以下のように書かれていました。

ご多忙の折、失礼いたします。

海老伝巢医科大学総合診療科教授の楠力雷先生よりご紹介いただき、ご連絡いたしました。

現在、私どもでは、事業合理化検討会議の医療・介護対策ワーキング・グループにおいて取り上げて議論すべき医療・介護分野の課題の洗い出し作業を行っておりまして、「健康診断・検診項目の合理性」に関して検討を深めたいと考えております。

つきましては、現在の日本の法定健診やがん検診等について、見直しが必要な項目に関しまして、是非とも先生の御意見・御知見を賜りたいと存じます。

お忙しい中恐縮でございますが、ご検討のほど何卒よろしくお願いいたします。

あなたは、政府機関から意見を求められたことに驚き、緊張を覚えながらも、12 月 11 日（日）に訪庁することにしました。日頃から健診・検診の意義について疑問を感じていたあなたは、学生の頃にお世話になった楠力雷先生からの推薦に応えるべく、EBMer の仲間たちと相談しながら、見直すべきわが国の健康診断・検診項目について資料を作成することにしました。

進め方（概要）：

- ①家のメンバーで相談し、現在のわが国の健康診断・検診項目等のうち見直しが必要と考えられるものを 1 つ取り上げ、エビデンスをまとめ、推奨を含めた資料を作成する。
- ②推奨の例：「法定健診項目から血糖値を削除する」、「大腸がん健診を便潜血反応から大腸内視鏡検査に変更する」、「乳がん検診の対象年齢を 40 歳以上から 50 歳以上に変更する」
- ③作成した資料を 12 月 7 日（水）までに南郷にメールで提出する。
- ④実践大会当日は、見直しが必要と考えた項目、推奨の内容、その根拠について、作成した資料を用いながらワーキング・グループのメンバーに説明する（制限時間 20 分）。

EBM 実践大会は、pES club で 1 年間 EBM を学んだ集大成となるものである。これまでに学んだことすべてを活用して取り組むこと。課題を進める上で不明な点、困ったことなどが生じた場合には、早めに Slack 上（各家の SNS 内で解決するより全体で共有した方が良い場合も多い）か、南郷に直接メールで質問すること。

ポイントは個人ではなく、家ごとに付与する。家獲得ポイントは以下の計算式で求める。

現役生の評点の平均×100+OB/OG・講師陣の評点の平均×200